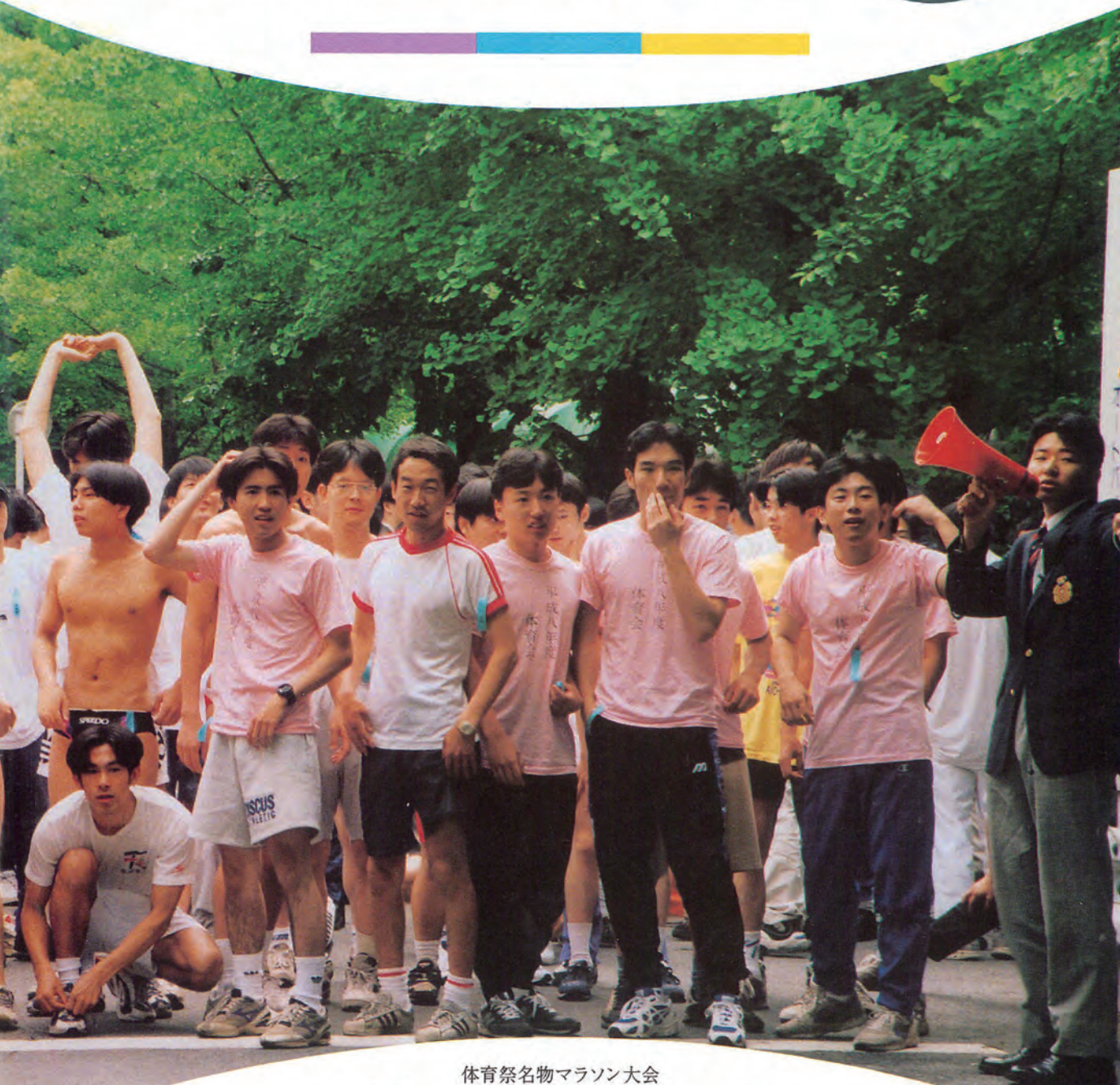


武蔵工業大学後援会誌

Mi-com

No. 16

1997-7



体育祭名物マラソン大会

新緑の住宅街を珍妙なスタイルで駆け抜ける学生たち

目指すはゴール(賞品はビール)を奪い取れ

さあ位置について、用意、ドンッ!

環境情報学部スタートに思う



武蔵工業大学 後援会 会長
黒崎 浩

1.(身近な体験から)5月末、横須賀市主催で市のゴミ処理施設見学会があり、まず巨大工場並の新鋭ゴミ焼却施設を見学しました。この処理場の問題点は、周辺住民との合意でプラスチックの混入焼却は5%以内に限定されていること。従って増大するプラスチック対策が次の大きな課題であることでした。次に燃せないゴミ(燃えないゴミではない。)の埋め立て状況を三浦半島の深部で見学しましたが、その埋め立て用地が、市内では今年で限界に到達するか。そして、今後どこにお願いに行くのか、これが現在、市の直面する最重要のゴミ処理に関する問題点であると説明をうけ、愕然とした次第です。

わずか1日の見学会のお蔭で、文化とゴミ、



環境とリサイクル等、種々なことを考えさせられ、「ゴミは減らすべき」との積極的な意識を強く感じました。遅まきながら非常によい経験をしたと思います。

2.(学問の府の話)2年程前、某国立大学の教官を対象に、短期的、中期的、長期的の3つの観点から、各人が考える最重要問題は何かというアンケート調査が行われたことがありました。その結果は、短期的には「大学改革」中期的には「新ロシアの政治の安定」、長期的には「21世紀の地球環境」が大学教官の考える最重要問題として挙げられました。この「21世紀の地球環境」は、今次サミットでも問われたように、人類にとって不可避の宿命的テーマになっております。

3.(そして、このような時に)我が武蔵工業大学は環境情報学部を開学しました。

少子化時代に向けての大学経営戦略面での成功は、是非期待したいところですが、それ以上に、この「環境・情報」という問題は、21世紀に向けての学問研究、人材教育、社会貢献という視点からも、極めて重要なテーマであり、その意味では、武蔵工業大学は未来に向けて素晴らしいスタートを切ったと思います。

平成9年度 評議員会が開催される

武蔵工業大学後援会の平成9年度評議員会が平成9年5月24日(土)午後2時45分から世田谷キャンパス3号館311教室において役員、評議員57名(委任出席10名)の出席のもとに開催されました。

評議員会は黒崎浩会長の開会の挨拶で始まり、役員および今年度新しく評議員に就任された24名の方々が紹介された後、議事に入りました。議事は事務局から第1号議案から各議案ごとに提案説明され、その後、この説明にもとづいて審議され採決の結果、次の議案が原案の通り可決、承認されました。



▲挨拶をされる古浜学長



▲審議風景



▲大学との懇談会

武蔵工業大学後援会 平成9年度評議員会

平成9年5月24日(土)
世田谷キャンパス311教室
(五島記念館1階)

1. 開会の辞 ——黒崎会長——

2. 報告事項

平成9年度後援会入会者数および会員数について

3. 議事

- 第1号議案 平成8年度事業報告について
- 第2号議案 平成8年度決算報告について
- 第3号議案 平成9年度事業計画案について
- 第4号議案 平成9年度予算案について
- 第5号議案 平成9年度役員候補者について
- 第6号議案 武蔵工業大学後援会会則の変更について

4. その他

5. 閉会の辞 ——五艘副会長——



平成8年度 事業報告

(1) 事業

1. 正課外教育援助

■主な課外活動への援助

●学生団体連合会への援助

平成8年度、学生団体連合会へ課外活動の援助金として1,200万円を援助した。

●「課外活動に対する補助制度」による一般援助は94団体となった。

(1)新聞会に対し、効率的な情報管理が行なえるよう、光磁気ディスク装置及びデジタルカメラの導入に援助。

(2)吹奏楽団の学内コンサート「M.I.T. JAZZ FESTIVAL'96」の企画・運営・実施に対して援助。

(3)放送会に対し、放送器材の新システムへの移行に伴う器材購入に援助。

(4)ラジオクラブの創部45周年記念事業に対して援助。

(5)バチェラー7、ウェスタンクラブ等の音楽団体に対し、共用器材購入の援助。

(6)ラグビー部、アイスホッケー部及びハンドボール部に対し、全国大会出場経費の一部を援助。

(7)カヌー競技の星栄介君（経営3年）に対し、平成8年度の国際大会出場経費の一部を特別課外活動として援助。

他。

●学生行事に対する援助

(1)学生団体連合会主催の新入生歓迎行事（スプリングフェスティバル'96）へ援助。

(2)体育会主催の体育祭へ援助。

(3)文化団体連合会主催のミュージックフェスティバルの運営費を援助。

(4)テニス系3団体主催の学長杯MI-Techテニストーナメント大会に対して援助。

(5)学生団体連合会・MIT祭実行委員会主催によるMIT祭の運営資金を援助。

他。

●強化団体指定による援助

平成8年度の強化団体として指定したラグビー部、アメリカン・フットボール部及びハンドボール部に対し、チーム強化のための資金を援助。

■学生顕彰

(1)大学の課外活動賞（学長賞、学生部長賞、課外

活動奨励賞）のうち、課外活動奨励賞を授与し、副賞を贈呈。

(2)在学中、課外活動に貢献した学生を選考し、20名に「後援会長賞」を授与・表彰した。

■学生の生活指導に対する援助

(1)全学生団体を対象に「救命講習会」の受講を義務付けさせ、その受講費用を援助。

（1団体1名を義務付け、80名が参加）。

(2)学生団体の責任者を対象とした「リーダーズ研修会」の費用の一部援助。（平成8年12月）

(3)MIT祭の実施担当者・協力者と学生部の反省会・慰労会に対し援助。

(4)留学生の研修及び国際交流活動に対し援助。

2. 「大学と父母との連絡会」への援助と協力

●全国26会場で開催された「大学と父母との連絡会」の費用の一部（301万円）を負担。

●東京会場においては黒崎会長が後援会を代表して挨拶。地方会場においては評議員の方々に会の運営等にご協力をいただいた。

3. 大学行事への協力

●平成8年度入学式に飯田会長が来賓として出席し祝辞（平成8年4月）。

●学校法人五島育英会傘下の後援会合同懇親会に黒崎会長が出席（平成8年6月）。

●平成8年度課外活動賞授賞式に五艘副会長が出席し、課外活動奨励賞を授与。（平成9年2月）

●平成8年度学位授与式に黒崎会長が来賓として出席し、「後援会長賞」の授与及び祝辞。（平成9年3月）

4. 学生厚生援助

●平成9年度からの2学部体制に備え、世田谷及び横浜の両キャンパス間の学生団体に関わる事務的な問題をスピーディーに処理するための情報通信網整備の一助として、両キャンパスの学生団体連合会本部・分室等に専用パソコンを購入し寄贈。

5. 後援会緊急奨学金

●会員の家計の急変により学業の継続が困難な子女に対して授業料相当額（全額又は半額）を貸与する緊急奨学金は、今年度3名に対し総額184万円を貸与。（平成8年6月、12月）

6. 会誌の発行

- 後援会の会誌「Mi-Com」14号（平成8年8月）、15号（平成9年3月）を刊行し、会員へ送付。

7. マイテック・フレッシュマン・キャンプに対する援助

- 平成8年4月17日・18日（1泊2日）に実施された、新入生を対象とした研修行事に対して援助。

8. 入会案内等の発送

- 平成8年度入学者のうち未入会の父母宛に再度入会案内を送付。（平成8年5月）
- 平成9年度入学予定者（工学部の推薦・自己推薦及び帰国生徒）の父母宛に入会案内を送付。（平成9年1月）
- 平成9年度入学予定者（工学部の付属特別・A方式及び環境情報学部の新国生・2月前期）の父母宛に入会案内を送付。（平成9年3月）
- 平成9年度入学予定者（工学部のB方式及び環境情報学部の付属系属校・帰国生徒指定校・2月後期・3月）の父母宛に入会案内を送付。（平成9年3月）

9. その他

- 会員及び会員の子女の死去に際し、香典・花環等を供えた。
- 後援会の事務担当者（アルバイト）の採用。（平成8年4月～平成9年3月）
- 大学へ「後援会長賞」の候補者の推薦依頼。

(2) 運 営

1. 理事会

平成8年5月11日(土)

- 平成8年度評議員会提出案件の審議。

平成8年11月23日(土)

- 平成8年度の(1)事業経過、(2)入会者数について、(3)「大学と父母との連絡会」の結果に関する審議。
- 平成9年度の主要会議日程、役員候補者選考、入会案内書送付等に関する審議。なお当日は理事会終了後、顧問の古浜庄一学長ほか大学関係者との懇談会が行われた。

2. 評議員会

平成8年5月25日(土)

- 平成7年度の事業報告、決算報告および平成8年度の事業計画案、予算案、役員候補者についての審議。なお、当日は評議員会に先立って学内の見学会を行い、評議員会終了後は、大学の教職員との懇談会が行われた。

3. 後援会の事務担当者(アルバイト)の採用

- 後援会の事務担当者として職員（アルバイト）を採用。（平成8年4月～平成9年3月）

4. 会計監査

平成9年4月19日(土)

- 高橋、原田両会計監査により平成8年度の会計監査を実施。

●平成9年度 後援会会員数

平成9年5月22日現在

組 織		工 学 部									環境情報学部
学科	機械	機械システム	電気電子	電子通信	電子情報	建築	土木	経営	エネルギー基礎	環境情報	合計
学年	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)
1年生	101	91	88	93	64	114	82	95	41	172	941
2年生	221	—	193	128	—	115	108	123	—	—	888
3年生	228	—	160	143	—	133	102	144	—	—	910
4年生	309	—	219	147	—	157	158	183	—	—	1,173
合 計	859	91	660	511	64	519	450	545	41	172	3,912

組 織		大 学 院						
専攻課程	機械	生産機械	電気	建築	土木	経営	原子力	合計
修・博合計	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)	(名)
	68	48	150	58	49	35	15	423

平成8年度 決算書

平成8年4月1日～平成9年3月31日

科 目	平成8年度予算	平成8年度決算	差 異	備 考
(収 入 の 部)	(円)	(円)	(円)	
1. 会 費	44,000,000	44,750,000	△750,000	●新入生、在学生の加入者
2. 雑 収 入	1,100,000	851,050	284,950	●利息収入
3. 前 年 度 繰 越 金	27,101,135	27,101,135	0	
収入の合計	72,201,135	72,702,185	△501,050	
(支 出 の 部)				
事 業 費	40,600,000	35,926,947	4,673,053	※下表の正課外教育援助費内訳を参照
4. 正課外教育援助費	25,700,000	22,888,728	2,811,272	●父母との連絡会（全国25カ所）
5. 父 母 連 絡 会 費	3,400,000	3,015,259	384,741	●体育祭、MIT祭（学園祭）等
6. 大学行事協力費	1,000,000	1,010,000	△10,000	●厚生設備等への援助（9号館・18号館等）
7. 学生厚生援助費	1,500,000	1,341,060	158,940	●緊急奨学金の支給
8. 奨 学 資 金 費	3,000,000	1,840,000	1,160,000	●後援会広報誌の作成（2回）
9. 会 報 発 行 費	3,700,000	3,531,900	168,100	●フレッシュマンキャンプに係わる援助
10. 新入生研修行事費	2,300,000	2,300,000	0	
運 営 費	6,650,000	4,903,356	1,746,644	
11. 事 務 費	1,600,000	1,568,000	32,000	●アルバイト代、事務委託費、消耗品費
12. 会 議 費	1,300,000	1,176,776	123,224	●役員会、評議員会
13. 印 刷 ・ 通 信 費	2,300,000	1,323,550	976,450	●通知、案内の郵送、印刷代
14. 旅 費 ・ 交 通 費	1,200,000	829,470	370,530	●地方評議員、役員の旅費
15. 備 品 費	200,000	0	200,000	●後援会関係の備品、什器
16. 雑 費	50,000	5,560	44,440	●振込手数料等
予 備 費	700,000	395,718	304,282	
特 別 会 計	4,300,000	4,300,000	0	
17. 後 援 会 基 本 積 立	2,300,000	2,300,000	0	●将来の事業拡大のため
18. 記 念 事 業 費 積 立	2,000,000	2,000,000	0	●大学創立記念事業協力のため
19. 学生事故対策援助費積立	0	0	0	●学生事故対策として5百万まで積立完了
20. 特別課外活動援助費積立	0	0	0	●大規模な対外遠征援助5百万まで積立完了
小 計	52,250,000	45,526,021	6,723,979	
次年度繰越金	19,951,135	27,176,164	△7,225,029	
支出の合計	72,201,135	72,702,185	△501,050	

●正課外教育援助費内訳

科 目	平成8年度予算	平成8年度決算	差 異	備 考
正課外教育援助費	25,700,000 ^(甲)	22,888,728 ^(甲)	2,811,272 ^(甲)	●「課外活動に対する補助制度」の費用他
課外活動援助費	23,400,000	22,001,420	1,398,580	
(イ)学団連援助金	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)	●学団連本部、体育会・文化団体連合会各部、MIT祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(ロ)一般援助金	(9,000,000)	(8,269,920)	(730,080)	●課外研究、対外活動、情報活動、環境向上活動、用具整備、特別企画、地域活動等
(ハ)学生行事援助金	(1,500,000)	(831,500)	(668,500)	●スプリングフェスティバル、水泳大会、ソフトボール大会、ミュージックフェスティバル等
(ニ)団体強化援助金	(900,000)	(900,000)	(0)	●強化指定団体(ラグビー部、アメリカンフットボール部、ハンドボール部)
学 生 顕 彰 費	600,000	494,867	105,133	●ボランティア表彰、課外活動奨励賞、後援会長賞等
学生生活指導援助費	1,700,000	392,441	1,307,559	●リーダー教育、救命法講習会受講料援助、留学生の交流指導、ボランティア育成等

平成9年度 事業計画

(1) 事業

1. 正課外教育援助

学生の課外活動のより活性化をはかるため、学生団体及び学生行事等に対して援助を行う。

■課外活動援助

「課外活動に対する補助制度」による補助を行う。

●学生団体連合会への援助

(課外活動の統括組織の活動に対する補助)

●一般援助

(課外研究、対外活動、環境向上活動、情報活動、用具整備、特別企画、地域活動、活動奨励等)

●学生行事への援助

(スプリング・フェスティバル、ミュージック・フェスティバル、MI-Techテニストーナメント、水泳大会、ソフトボール大会、公開企画、特別行事等)

上記の援助は、援助希望団体(個人)の申請に基づき、大学学生部の意見をを受けて決定される。

●強化団体指定による援助

関東リーグ相当クラスの上位リーグで活躍する団体に対して、チーム強化のための援助を行う。

(関東リーグ3部以上相当：関東ランキング24位前後以上を目安)

■学生顕彰

●課外活動賞のうち、課外活動奨励賞を与える。

●学位授与式(卒業式)において、課外活動に貢献のあった学生約20名に、「後援会長賞」を与える。

■学生生活指導

●学生の生活指導に対する援助を行う。

(リーダーズ研修会、救命講習会の受講、外国人留学生の研修及び国際交流活動、他の費用を援助)

2. 「大学と父母との連絡会」の開催

●大学と共催し、全国各地において「大学と父母との連絡会」を開催する。今年度は、本学会場(世田谷キャンパス、横浜キャンパス)を含め27会場で開催する。本学会場は平成9年9月27日(土)を予定。

3. 「役員・評議員と大学教職員との懇談会」の開催

●平成9年5月24日(土)の評議員会の後、大学から

学長、学部長、理事、主任教授、学生部委員、事務局管理職等が出席。

4. 大学行事への協力

●大学及び学生が主催する大学行事、企画への協力。

5. 学生厚生援助

●学生の厚生施設・設備充実のための援助。(学生利用施設)

6. 緊急奨学金の貸与

●会員の家計の急変により学業の継続が困難な子女に対して、授業料相当額(全額又は半額)を援助。

7. 会誌の発行

●後援会の会報誌「Mi-Com」を年2回発行し、学内の動きを父母に連絡すると共に、会員相互の親睦をはかる。

8. 新入生研修行事(フレッシュマン・キャンプ)への援助

●毎年4月に実施の新入生対象のフレッシュマン・キャンプへの援助。

(2) 運営

1. 会議

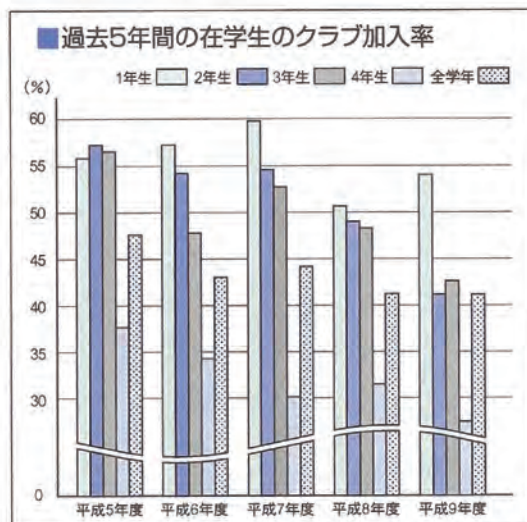
理事会 2回 平成9年5月10日(土)

平成9年11月22日(土)予定

評議員会 1回 平成9年5月24日(土)

2. 後援会の業務を担当する事務担当者(アルバイト)の採用

(期間 平成9年4月1日～平成10年3月31日)



平成9年度 予 算

平成9年5月25日

科 目	平成9年度予算	備 考
(収 入 の 部)	(円)	
1. 会 費	48,800,000	●新入生の加入者
2. 雑 収 入	900,000	●利息収入
3. 前 年 度 繰 越 金	27,176,164	
収 入 の 合 計	76,876,164	
(支 出 の 部)		
事 業 費	41,000,000	
4. 正 課 外 教 育 援 助 費	26,000,000	※下表の正課外教育援助費内訳を参照
5. 父 母 連 絡 会 費	3,400,000	●全国各地で年1回大学と共催
6. 大 学 行 事 協 力 費	2,000,000	●体育祭、MIT祭(学園祭)等
7. 学 生 厚 生 援 助 費	1,500,000	●厚生設備等への援助(9、18号館等)
8. 奨 学 資 金 費	3,000,000	●緊急奨学金
9. 会 報 発 行 費	3,000,000	●後援会広報誌の作成(2回)
10. 新 入 生 研 修 行 事 費	2,100,000	●全学的に行うフレッシュマンキャンプに係わる援助
運 営 費	8,150,000	
11. 事 務 費	1,600,000	●アルバイト代、事務委託費、消耗品費
12. 会 議 費	1,500,000	●役員会、評議員会
13. 印 刷 ・ 通 信 費	2,300,000	●通知、案内の郵送、印刷代
14. 旅 費 ・ 交 通 費	1,200,000	●地方評議員、役員の旅費
15. 備 品 費	1,500,000	●後援会関係の備品、什器
16. 雑 費	50,000	●振込手数料等
予 備 費	700,000	
特 別 会 計	25,800,000	
17. 後 援 会 基 本 積 立	22,300,000	●将来の事業拡大のため
18. 記 念 事 業 費 積 立	2,000,000	●大学創立記念事業協力
19. 学 生 事 故 対 策 援 助 費 積 立	0	●学生事故対策として5百万円まで積立完了
20. 特 別 課 外 活 動 援 助 費 積 立	1,500,000	●大規模な対外遠征援助5百万円まで積立
小 計	75,650,000	
次 年 度 繰 越 金	1,226,164	
支 出 の 合 計	76,876,164	

●正課外教育援助費内訳

科 目	平成9年度予算	援 助 対 象
正課外教育援助費	26,000,000 (円)	●(イ)(ロ)(ハ)は「課外活動に対する補助制度」の費用
課外活動援助費	24,400,000	●(ニ)は強化指定団体制度により運用
(イ)学団連援助費	(12,000,000)	●学団連本部、体育会・文化団体連合会各部、MIT祭実行委員会、吹奏楽団、放送会、新聞会
(ロ)一般援助金	(10,000,000)	●課外研究、対外活動、情報活動、環境向上活動、用具整備、特別企画、地域活動
(ハ)学生行事援助金	(1,500,000)	●スプリングフェスティバル、水泳大会、ソフトボール大会、ミュージックフェスティバル等
(ニ)団体強化援助金	(900,000)	●強化指定団体
学 生 顕 彰 費	600,000	●ボランティア表彰、課外活動奨励賞、後援会長賞等
学 生 生 活 指 導 援 助 費	1,000,000	●リーダー教育、救命法講習会受講料援助、留学生の交流指導、ボランティア育成等

平成9年度 役員・評議員

役員 (敬称略)

会 長	黒 崎 浩	機 械 (再)	理 事	谷 口 正 克	機 械 (新)
副 会 長	五 艘 章	土 木 (再)	理 事	落 合 悟	電 気 電 子 (新)
副 会 長	横 山 和 雄	経 営 (新)	理 事	橋 本 慶 隆	電 子 通 信 (新)
理 事	直 江 正 彦	電 気 (再)	理 事	小 島 岩 男	土 木 (新)
理 事	三 好 陽 二	機 械 (再)	理 事	後 藤 克 彦	土 木 (新)
理 事	菱 沼 紀 昭	機 械 (再)	理 事	黒 須 征 男	経 営 (新)
理 事	真 壁 敏 昭	機 械 (再)	会 計 監 査	高 橋 佑 太 郎	電 気 電 子 (再)
理 事	平 柳 健	電 子 通 信 (再)	会 計 監 査	原 田 晴 祥	建 築 (新)
理 事	曾 慶 健 一	建 築 (再)			
理 事	山 本 善 彦	経 営 (再)	顧 問	古 浜 庄 一	学 長
理 事	潮 恵 次	電 子 通 信 (再)	顧 問	中 添 淳	教 授

評 議 員 (敬称略)

後 藤 正 昭	兵 庫 県	電 気 電 子 (再)	佐 川 保 博	福 島 県	土 木 (再)	大 石 隆 重	埼 玉 県	機 械 シ ス テ ム (新)
福 井 健	東 京 都	電 子 通 信 (再)	谷 川 豊	兵 庫 県	土 木 (再)	藤 井 道 也	東 京 都	機 械 シ ス テ ム (新)
濱 田 恵 亮	宮 崎 県	建 築 (再)	林 春 子	東 京 都	土 木 (再)	南 山 外 喜 男	石 川 県	機 械 シ ス テ ム (新)
武 野 正 幸	東 京 都	機 械 (再)	北 川 晴 一	岐 阜 県	経 営 (再)	一 柳 泰 義	香 川 県	電 気 電 子 (新)
大 道 裕 宣	神 奈 川 県	機 械 (再)	長 瀬 健	神 奈 川 県	経 営 (再)	三 宅 ヨ シ ノ リ	神 奈 川 県	電 気 電 子 (新)
山 下 浩 之	栃 木 県	電 気 電 子 (再)	山 本 専 一	東 京 都	経 営 (再)	豊 田 宣 臣	千 葉 県	電 子 通 信 (新)
安 田 善 次	愛 知 県	電 気 電 子 (再)	島 田 亜 雄	群 馬 県	経 営 (再)	柳 澤 文 夫	長 野 県	電 子 通 信 (新)
伊 藤 穆	兵 庫 県	電 子 通 信 (再)	小 林 武 弘	神 奈 川 県	機 械 (再)	山 田 亨	埼 玉 県	電 子 通 信 (新)
島 森 義 光	埼 玉 県	電 子 通 信 (再)	中 村 敏 雄	神 奈 川 県	機 械 (再)	大 津 優	東 京 都	電 子 情 報 (新)
久 保 内 操	高 知 県	建 築 (再)	花 村 嘉 彦	東 京 都	機 械 (再)	内 田 知 行	熊 本 県	電 子 情 報 (新)
村 中 一 成	山 口 県	建 築 (再)	河 西 英 雄	神 奈 川 県	電 気 電 子 (再)	小 林 昭 夫	神 奈 川 県	電 子 情 報 (新)
小 原 眞 吾	東 京 都	土 木 (再)	四 方 英 雄	千 葉 県	電 気 電 子 (再)	安 部 實	神 奈 川 県	建 築 (新)
工 藤 公 健	北 海 道	土 木 (再)	中 村 平 一 郎	神 奈 川 県	電 気 電 子 (再)	堀 田 正	新 潟 県	建 築 (新)
伊 藤 正 樹	神 奈 川 県	経 営 (再)	桜 井 武	神 奈 川 県	電 子 通 信 (再)	北 本 正 義	広 島 県	土 木 (新)
梅 原 二 郎	京 都 府	機 械 (再)	森 元	富 山 県	電 子 通 信 (再)	木 村 憲 司	神 奈 川 県	土 木 (新)
国 岡 克 匡	神 奈 川 県	機 械 (再)	新 居 千 秋	東 京 都	建 築 (再)	遠 山 智 一	埼 玉 県	土 木 (新)
池 田 外 余 光	神 奈 川 県	機 械 (再)	三 高 正 明	静 岡 県	建 築 (再)	名 畑 博 之	神 奈 川 県	経 営 (新)
三 木 浩	徳 島 県	機 械 (再)	中 本 清	沖 縄 県	建 築 (再)	三 宅 基 夫	神 奈 川 県	経 営 (新)
鴨 川 隆 彦	福 岡 県	機 械 (再)	前 田 房 夫	神 奈 川 県	建 築 (再)	北 村 義 次	東 京 都	エ ネ ル ギ ー 基 礎 (新)
小 牧 明 彦	大 阪 府	機 械 (再)	児 玉 光 東	神 奈 川 県	土 木 (再)	黒 田 定 男	岡 山 県	エ ネ ル ギ ー 基 礎 (新)
谷 公 士	東 京 都	電 気 電 子 (再)	高 波 謙 二	長 野 県	経 営 (再)	大 内 康 行	神 奈 川 県	環 境 情 報 (新)
波 藤 雅 俊	東 京 都	電 気 電 子 (再)	鈴 木 誠 治	東 京 都	機 械 (新)	岡 部 正 彦	東 京 都	環 境 情 報 (新)
野 中 千 城	山 梨 県	電 子 通 信 (再)	多 胡 護	香 川 県	機 械 (新)	豊 田 喜 夫	東 京 都	環 境 情 報 (新)
小 草 伸 春	島 根 県	建 築 (再)	鎗 居 秀 禎	東 京 都	機 械 (新)			

平成8年度「課外活動に対する補助制度」による援助

後援会の事業の一つに「課外活動に対する補助制度」があります。これは学生が自主的な財源確保の努力をしつつも補助を受けることにより、特色ある活動や、より高レベルの活動が可能となり、キャンパスライフの充実に貢献することを期待して設けられているものです。

■学生団体連合会 補助

平成8年度学生団体連合会への援助金として12,000,000円を補助(学生代表者:内田則夫/顧問:中添淳)

■一般補助 第1回分

団 体 名	学生代表者名	活 動 の 内 容	補助額(円)
体育会本部	今川 将秀	ナイトラリー開催に関わる行事運営資金として	200,000
新聞会	松田 裕介	MO(光磁気ディスク)装置購入費用として	50,000
演劇部	飯田 伸和	春期定期公演の公演経費の一部として	50,000
鉄道研究部	中川 晃市	Nゲージ車輛購入代として	40,000
ラジオクラブ	岡崎 譲	第25回 6m AND DOWNコンテストへの参加に際する機器(1200MHz帯直下型受発信増幅器)の購入費用として	50,000
		1996年ハムフェアへの出展参加料として	40,000
パッチャー7	木原 祥隆	ギターアンプ(他部との共用)の購入代として	80,000
自動車部	岡本 栄介	全関東学生ダートトライアル選手権大会出場及び全関東学生ジムカーナ選手権大会出場(総合12位)に際する部品購入費用の一部として	70,000
ウエスタンクラブ	竹内 英夫	メインスピーカー(他部との共用)の購入費用の一部として	50,000
マンドリンクラブ	坂巻 徳久	第34回定期演奏会費用の一部として	60,000
ハンドボール部	大西 拓	関東学生ハンドボール3部春期リーグ戦全勝優勝に対して	100,000
		東日本インカレ出場経費の一部として	700,000
スキー部	鈴木 英二	関東理工連スキー大会・全国学生岩岳スキー大会出場に伴う経費の一部と大会の好成績に対して	100,000
アイスホッケー部	大本 大	活動施設確保のための費用の一部補助として	600,000
		関東大学選手権(Dグループ)及び東京理工系リーグの全勝優勝に対して	100,000
弓道部	高木 宏明	女子記録会における女子部員の活躍に対して	30,000
ワンデリングスキー同好会	鈴木 智伸	大会出場に伴うエントリー費用の一部として	30,000
合 計	14団体	17件	2,350,000

■一般補助 第2回分

団 体 名	学生代表者名	活 動 の 内 容	補助額(円)
吹奏楽団	平野 聡	M.I.T. Jazz Festival'96の主催に対する運営費として	80,000
放送会	松田 武	ハードディスクレコーダーの購入費用の一部として	100,000
新聞会	松田 裕介	デジタルカメラの購入費用として	83,350
自動車部	岡本 栄介	全日本学生ダートトライアル選手権大会(出場権獲得)の出場経費の一部として	100,000
モーターサイクル部	遠藤 光則	関東ロードレース選手権シリーズ(2戦出場)、サイクルサウンズCupシリーズ(2戦出場)の出場経費の一部として	30,000
鉄道研究部	中川 晃一	第3回鉄道フェスティバルイベント参加経費として	10,000
		制御機器類の修理代の一部補助として	50,000
グリークラブ	井上 雄城	ボランティア活動に関わるレコーディング費用の一部として	45,000
ハワイアンクラブ	矢沢 健一	演奏器材(他部との共用)の購入費用の一部として	30,000
演劇部	飯田 伸和	冬季公演の経費の一部補助として	50,000
落語研究部	斉藤 義浩	ボランティア活動に対して	50,000
柔道部	五艘 裕志	大会運営(主管校)費用として	53,550
空手道部	藤川 宣昭	六工大リーグ戦、全日本空手道大会での活躍(優勝等、上位入賞者複数)に対して	100,000
弓道部	高木 宏明	世田谷区民体育大会での活躍(最高の中賞等、上位独占)に対して	100,000
ラグビー部	清水 周一	理工系リーグ戦での活躍(8戦全勝優勝)に対して	100,000
ソフトテニス部	山本 徹	関東リーグ、関東理工系個人戦での活躍(関東リーグ11部優勝・10部昇格他)に対して	100,000
バスケットボール部	城田 敏也	関東男子学生バスケットボールトーナメント戦での活躍(3回戦進出ベスト32位)に対して	100,000
山岳部	白樫 幸子	登山活動(危険スポーツ)に対する保険代の一部として	40,000
ヨット部	大谷 一郎	ヨット試乗会(公開企画提供)の開催経費として	25,000
スキー部	鈴木 英二	スキー(危険スポーツ)保険の費用の一部として	80,000
天文研究会	大坂 威史	MIT祭におけるプラネタリウム製作の費用の一部として	50,000
電気研究会	鈴木 裕一	全国ロボット相撲コンテストのロボット製作費の一部として	50,000
		MIT祭での公開授業(地域の小学生対象)開催費用として	20,000
合 計	21団体	23件	1,446,900



■一般補助 第3回分

団体名	学生代表者名	活動の内容	補助額(円)
鉄道研究部	平山 公人	スチールカー学祭号の製作費用の一部補助として	50,000
ラジオクラブ	岡崎 譲	創立45周年記念誌の製作費の一部補助として ARRL 10m Contestの必要経費の一部補助として	60,000 30,000
マンドリンクラブ	大石 洋	跡見学園女子大学とのジョイントコンサートの支出項目のうち、後援会が補助対象とする支出の半額分として補助	90,000
モーターサイクル部	遠藤 光則	関東ロードレース選手権(SPI25クラス)シリーズ第13戦、96関東ロードミニ選手権・第9戦、96サイクルサウンドカップ他の出場経費の一部補助として	50,000
剣道部	藤井 義之	関東理工科系学生剣道新人戦大会第3位入賞に対して	50,000
空手道部	藤川 宣昭	第9回全日本理工科系大学空手道選手権大会で団体型の部第3位入賞(18大学参加)に対して	70,000
弓道部	堀河 宏明	東京都4部リーグ全勝優勝に対して	100,000
バスケットボール部	鎌川 洋祐	第38回大阪工業大学定期戦開催の諸経費の一部補助として	110,000
水泳部	山本 博徳	第5回泳光戦当番校の幹事大学としての運営費一部補助として	50,000
ラグビー部	清水 周一	全国地区対抗大学ラグビーフットボール大会出場経費のうち宿泊費の一部補助として	1,500,000
スキー部	鈴木 英二	関東理工科系大学スキー大会幹事運営費用の一部補助として	70,000
アイスホッケー部	大本 大	関東大学リーグでの全勝優勝に対して 第69回日本学生氷上選手権大会出場経費の一部補助として	100,000 1,000,000
ヨット部	和田 浩志	台風による船の損傷修理費の一部補助として	100,000
ワンダーフォーゲル部	井戸上 達	連盟主催のリーダー講習会の参加費用として	20,000
スカイスports同好会	中田 寛	スポーツ保険加入費用の一部補助として	70,000
国際交流友の会	守田 進	MIT祭での民族舞踊企画の企画実施の業績に対して	40,000
機親会	徳永 弘毅	エコラン、エコムーブ、ソーラーカー、ロボット相撲等の各大会へのエントリーフィー分として	130,000
堀河 宏明(弓道部)		第42回東西学生弓道選抜対抗試合において東日本選抜メンバーに選ばれ、優勝の立役者となったことに対して	40,000
合 計	17団体1個人	21件	3,730,000

■一般補助 第4回分

団体名	学生代表者名	活動の内容	補助額(円)
MIT祭実行委員会	後藤 大輔	2学部体制に対応できるようにパソコン(既存の機器が老朽化)の購入費用として	447,020
グリークラブ	奥田 裕	第37回定期演奏会の経費の一部補助として	100,000
モーターサイクル部	遠藤 光則	関東ロードレースミニ選手権・第11戦への出場のエントリーフィーとして経費の一部補助について	6,000
ワンダーフォーゲル部	井戸上 達	医療講習会(関東学生ワンダーフォーゲル連盟主催)の参加費として	70,000
卓球部	小高 壽貴	関東学生卓球リーグ秋季戦にて5部優勝・4部昇格に対して	100,000
洋弓部	館野 武洋	全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会への出場経費のうち、開催地への交通費補助として	20,000
合 計	6団体	6件	743,020

●平成8年度「後援会長賞」受賞者

氏 名	所属クラブ	進 路 先	氏 名	所属クラブ	進 路 先
佐藤 友彦(機 械)	体育会会長	(株)関配	大塚 賢一(建 築)	弓道部主将	(株)フジタ
大木 大(機 械)	アイスホッケー部主将	東京エレクトロン(株)	武藤 しほ(建 築)	囲碁部	未定
岡村 斉(機 械)	アメリカンフットボール部主将	(株)ニチレイ	住野 剛士(建 築)	バドミントン部主将	三井ホーム(株)
黒川 尚重(機 械)	文化団体連合会副本部長	武蔵工業大学大学院	後藤 修二(土 木)	準硬式野球部主将	武蔵工業大学大学院
長根 宏和(機 械)	鉄道研究部部長	真島満秀写真事務所	土田 淳也(土 木)	弓道部副務	五洋建設(株)
鎌田和佳江(電気電子)	弓道部副将	春日電機(株)	高野 泰志(経 営)	新聞会会長	武蔵工業大学大学院
阪上 真之(電子通信)	学生団体連合会副執行委員長	八洲電機(株)	清水 周一(経 営)	ラグビー部主将	日本電信電話(株)
井上 英一(電子通信)	体育会副会長	本田技研工業(株)	大西 拓(経 営)	ハンドボール部主将	小池酸素工業(株)
庄司 公房(電子通信)	新聞会会長	(株)時事通信社	村上 拓真(経 営)	ハンドボール部	武蔵工業大学大学院
金網 修一(電子通信)	ラジオクラブ部長	三波工業(株)	藪内靖子(電気工学専攻)	学会活動	東京電力(株)

平成9年度「大学と父母との連絡会」のお知らせ

——全国27ヶ所で開催——

後援会と大学の共催により平成9年度「大学と父母との連絡会」を下記の27会場で開催します。大学側から教職員の方が出席され、教育方針や現況等について説明していただくと共に、在学する子弟の修学および学生生活上の諸問題について懇談することを目的としております。奮ってご出席ください。

■平成9年度「大学と父母との連絡会日程および会場」

開催地	開催日	開催時間	会場と所在地（電話番号）	備考
釧路市	9月6日(土)	10:00～12:00	釧路東急イン 釧路市北大通13-1-14 (0154-22-0109)	
札幌市	9月7日(日)	10:00～12:00	札幌東急ホテル 札幌市中央区北4条西4丁目 (011-231-5611)	
青森市	9月7日(日)	10:00～12:00	ホテルJALシティ青森 (2階 アイリス) 青森市安方2-4-12 (0177-32-2580)	
仙台市	9月6日(土)	10:00～12:00	ホテルJALシティ仙台 (2階ローズルーム) 仙台市青葉区花京院1-2-12 (022-221-2580)	
郡山市	9月5日(金)	10:00～13:00	郡山ビューホテルアネックス (3階 麓山) 郡山市中町10-10 (0249-24-1111)	食事会方式となりますので、当日食事代として1500円を徴収させていただきます
宇都宮市	9月13日(土)	9:30～11:30	ホテルフェアシティ 宇都宮市東宿郷2-4-1 (028-632-7777)	
水戸市	9月14日(日)	9:30～11:30	ホテルシーズン 水戸市桜川1-9-6 (029-227-0008)	
東京	9月27日(土)	学内見学希望 10時15分より 見学未希望 12時00分より	武蔵工業大学 工学部(世田谷キャンパス) 東京都世田谷区玉堤1-28-1 (03-3703-3111)	学内見学の希望・未希望により集合時間が異なります 終了時間は個人面談希望者以外は15時00分くらいになります
横浜	9月27日(土)	10:30～14:00	武蔵工業大学 環境情報学部(横浜キャンパス) 横浜市都筑区牛久保西3-3-1 (045-910-2500)	
高崎市	9月6日(土)	10:00～12:00	高崎アーバンホテルナポリ 高崎市八島町58-1 (0273-22-0111)	
新潟市	9月7日(日)	10:00～12:00	ホテルイタリア軒 新潟市西堀通7番町1574 (025-224-5111)	
甲府市	9月13日(土)	10:30～13:00	甲府ホテル (2階 メイプル) 甲府市北口一丁目2-17 (0552-52-1311)	食事会方式となりますので、当日食事代として1800円を徴収させていただきます
長野市	9月14日(日)	10:30～13:00	長野ファーストホテル (4階 すそばな) 長野市新田町1107 (0262-35-8686)	食事会方式となりますので、当日食事代として1800円を徴収させていただきます
富山市	9月6日(土)	10:00～12:30	第一イン富山 (11階 立山・剣) 富山市桜町1-1-1 (0764-42-6611)	
金沢市	9月7日(日)	10:00～12:30	金沢東急ホテル (兼六の間) 金沢市香林坊2-1-1 (0762-31-2411)	
静岡市	8月30日(土)	(午前の部) 9:30～12:00 (午後の部) 13:30～16:00	ホテルアソシア静岡ターミナル (2階 フローラ) 静岡市黒金町56(静岡駅北口) (054-254-4141)	
浜松市	8月31日(日)	9:30～12:00	浜松名鉄ホテル (3階 竹の間) 浜松市板屋町110番地(浜松駅北口) (053-452-5111)	
名古屋	9月6日(土)	10:30～12:30	ホテルライオンズプラザ名古屋 名古屋市中区栄4-15-23 (052-241-1500)	食事会方式となりますので、当日食事代として1500円を徴収させていただきます
大阪市	9月7日(日)	9:30～11:30	大阪ガーデンパレス 大阪市淀川区西宮原1-3-35 (06-396-6211)	
岡山市	8月29日(金)	10:00～12:00	ホテルグランヴィア岡山 岡山市駅元町1-5 (086-234-7000)	
広島市	8月30日(土)	10:00～12:00	広島ガーデンパレス 広島市東区光町1-15 (082-262-1122)	
小郡町	8月31日(日)	10:00～12:00	山口グランドホテル 吉敷郡小郡町黄金町1-1 (0839-72-7777)	
高松市	8月30日(土)	9:30～12:00	高松東急イン 高松市兵庫町9-9 (0878-21-0109)	
高知市	8月31日(日)	9:30～12:00	ホテルサンルート高知 高知市北本町1-1-28 (0888-23-1311)	
福岡市	8月30日(土)	10:00～12:00	福岡ガーデンパレス (宝満) 福岡市中央区天神4-8-15 (092-713-1112)	
熊本市	8月31日(日)	10:00～12:00	ニュースカイホテル熊本 (飛鳥) 熊本市東阿弥陀寺町2 (096-354-2111)	
那覇市	7月13日(日)	10:00～12:00	ホテルニューおきなわ 那覇市松尾1-4-5 (098-867-7200)	